

その「脱力」、どこから考える？

脱力患者で 診るべきHi-Phy-Vi

曖昧な訴えから
見逃せない病態を
見抜く力を。



救急外来でまず診るべきポイントを学ぶ40分



高齢者の曖昧な 主訴を整理する

- ✓ 「動けない」「元気がない」
をどう捉えるか
- ✓ 初療で見落としたくない
視点



Hi-Phy-Viで 初期評価

- ✓ 救急でまず何を診る？
- ✓ どこまで身体診察する？
- ✓ 緊急性をどう見極める？



危険な病態を 見逃さない

- ✓ 感染症
- ✓ 脳卒中
- ✓ 代謝・内分泌異常 など



セッション概要

救急外来では「動けない」「元気がない」など、とりとめのない主訴で来院する高齢者が年々増加しています。そのような患者にどのようにアプローチするべきなのか、救急の現場でまず診るべきポイントを整理しましょう。

一緒に、診る力を
レベルアップしよう！

担当



坂本 壮 先生

総合病院国保旭中央病院
救急救命科 医長

こんな研修医におすすめ！

- ✓ 脱力の初期対応が苦手
- ✓ 高齢者の非特異的主訴に迷う
- ✓ 救急でまず何を診るか整理したい